

な か ま

発行
佐倉市立中央公民館
編集
なかま編集委員会
〒285-0025
佐倉市鎗木町 198-3
電話 (043) 485-1801

歴史の教訓----- 内田 節 小学一年生のテストの思い出-- 中村 一郎
坂東三十三観音巡拝----- 高橋 明 さんま----- 小田 眞二

：
《新春に寄せて》
：

佐倉市長 蔵 和 雄



『なかま』をご愛読の皆様、
新年あけましておめでとうござ
います。

市民の皆様におかれまして
は、健やかに希望に輝く新年
をお迎えのことと心からお慶
び申し上げます。また、日ご
ろから佐倉市政の運営にあた
り、格別のご支援をいただき
ておりますことを心より感謝
申し上げます。

の活性化」「公正、透明で効
率的な行政運営」の5つの基
本政策を掲げ、市民の皆様の
ご信任をいただき、3期目の
佐倉市政を担わせていただく
こととなりました。

平成19年4月の市長就任以
来、2期8年にわたり、しが
らみのない、クリーンな政治
をモットーに、長年の懸案で
あった志津霊園問題や財政の
建て直しなど山積する諸問題
の解決に奔走してまいりまし
た。その間、皆様からのご支
援、ご協力を賜り、多くの課
題が解決に至ったものと考え
ております。

過去の負の遺産を一掃した
今、佐倉市百年の計を見据え、
未来に向けて、新たなふるさ
とを築いていくことと、市民
と佐倉づくりに邁進してまい
ります。子育てしやすく学び
やすく老後を過ごしやすい、
将来に希望の持てる選ばれる
まちを目指して、各種施策に
鋭意取り組んでまいります。

特に高齢者の皆様には、住み
なれたここ佐倉の地で、いつ
までも活き活きと、自分らし
く、安心して暮らしていただ
くため、『認知症施策の推進』
や『在宅医療と介護連携の推
進』、『生活支援や介護予防の
充実』と併せて『シニア世代
の力を生かす生きがい対策』
を進めてまいります。

市民の皆様におかれまして
は、今後とも市政運営にご理
解とご支援、ご協力を賜りま
すよう、心からお願い申し上
げます。

さて、平成28年の干支は申
でございます。本年もここに
「申」という文字を書かせて
いただきました。「申」は草
木が伸びきり、果実が成熟し
て堅くなつていく状態を表す
とされています。また、「サ
ル」は「去る」を意味し、「
悪いことが去る」「病が去
る」など、幸せを運ぶものと
する説もございます。
本年が市民の皆様にとりま
して実りのある、平和で幸多
い年となりますよう、心から
ご祈念申し上げます、年頭
のご挨拶といたします。

歴史の教訓

先の大戦の史跡アウシュビッツ強制収容所とビルケナウ強制絶滅収容所に行く機会があったので訪ねてきました。

まず、アウシュビッツで唯一の日本人ガイド中西さんの説明を聞き、建物の各部屋各展示品を見学。おびただしい数の靴の山。名前の書いてある靴の山など、また人間の脂肪で作った石鹸を見た時は、さすがにショックでまともに見ることが出来ませんでした。

人間はなんて残酷なんだ。肉食獣だって無駄な殺戮はしない。なのに人間はなぜ殺し合いを繰り返すのだろうか。哲学者ヘーゲルは「人間は歴史から何も学ばない。それが最大の歴史の教訓だ」といっています。第一次世界大戦の教訓を平均年齢38歳のナチス党ヒットラー内閣は何も学んでいない。それどころかユダヤ人大虐殺へ突っ走ったの

は、ユダヤ人への嫌悪感なのか、地球上からユダヤ人を抹殺しようと思ったのだろうか。

ビルケナウを見学した時、ナチスが人としての思考力をなくし人間の尊厳に対する心をさえ捨て去ってしまったように思えた。ユダヤ人を家畜以下に扱い劣悪という言葉以上にいいようの無いひどい建物に閉じ込め死へと向かわせた。東西冷戦崩壊後のセルビア人のコソボ人虐殺、また現在も続いているスンニ派とシーア派のイスラム教徒同士の殺し合い等々、自己誇示欲、独占欲等をもって他民族他宗教への排他心をあらわにして殺戮へと突っ走る。

戦争は破壊と絶望と失望しかもたらさない人類が犯す最大かつ恥辱に充ちた行動だ。人間はなぜ歴史の教訓を学ぼうとしないのか。考えさせられる旅でした。

(大蛇町 内田 節)

小学一年生の

テストの思い出

私の小学校入学は昭和15年で、尋常高等小学校制度最後の入学であった。国語教科書は、文部省「小学国語読本」で総て「カタカナ」である。2ページ「サイタサイタサク ラガサイタ」、4ページ「コイコイシロコイ」、6ページ「ススメススメヘイタイスス」の文字が並んでカラーの絵入りであったために理解するのが早かったように覚えている。

夏休み前にテストが行われ、答案用紙にはいろいろな絵が描かれていて、傍らに○があり、「そこに絵の答を書きなさい」という出題であった。問題の一つに、飛んでいる蝶々の絵があり、傍らに○
○・○○とあった。私の答は字余りになったが、「チョウ」「チョウ」と書いた。採点された答案用紙が配られて結果

は「×」だった。家で母親に見せて、正解は「テフ」「テフ」であることが分かった。問題は全部で「20」問で×がひとつ、赤エンピツで95が○で囲まれていて100ではないのが悔しかった。

後年、教育改革により新仮名づかいが導入されて、「テフ」は「チョウ」に改められたことを知り、嬉しくなっていたことに入り美酒で一人静かに盃を挙げたことがあった。

(西志津 中村 一郎)



坂東三十三観音巡拝

私が住んでいる志津地区を

中心に出羽三山（羽黒山、月山、湯殿山）、秩父三十四観音参りの参拝記念碑が数多く見うけられます。私が育った備後地方（広島県東部）でも同じように石鎚山詣（愛媛県）があり、お土産にニッケイ（クスノキ科）の皮（シナモンのような味）、天狗が描かれた渋皮団扇を貰っていた記憶があります。巡拝は世が安定した江戸時代に入り、極楽往生、天下泰平、五穀豊穰を願ひ、多くなったようです。

私ごと、あの世に引き寄せられるように、18年もかけて坂東三十三観音巡拝を昨年終了しました。観音の所在地は、那須、前橋、秩父、御殿場、鎌倉、茨城、千葉で、いずれのお寺も重要文化財の建物で、その凄さに感心しきりでした。特に印象に残っているのは三か所で、一番はご存知の茂

原の笠森観音です。この本堂は日本唯一の四方懸崖造りで、この構造物が千年前のものとは思えません。

二番目は、宇都宮の大谷観音で、建築物に使用される大谷石採掘場の近くにあり、大谷石凝灰岩層の洞窟内に建立された珍しい寺です。この洞窟は縄文時代の大谷岩陰遺跡として保存されています。

三番目は、栃木の出流山満願寺で出流山麓にあり、本堂は日本三御堂の一つのことです。当寺の奥院拝殿に行くのには、杖をついて30分程度山道を登りつめた、頭上絶壁に舞台造りの鍾乳洞の礼拝堂があり、参拝するのに2時間程度かかりました。

最近では、本堂でお参りもせず、納経帳に「ご朱印」を受けただけの方が大変多いと、お寺から一言がありました。巡拝から観光めぐりに変わってきているのでしょうか。

（上志津 高橋 明）

さんまー

「さんまー」、これを読んだニヤツとしたのは相当の愛好家であろう。「何？それ」と思うのが普通の感覚である。

種を明かせば「三人打ち」、即ち三人麻雀の事を三麻（サンマー）と呼んでいる。

私がこの三麻を経験したのは6年前である。10年近く続いていた常連との「四人打ち」だったが、平成21年にその内の一人であった業界の大先輩が鬼籍に入ってしまった、新たな人を入れるよりはと始めたのがきっかけである。

ルールは、基本的には「四人打ち」と同じであるが、萬子（マンズ）の二萬から八萬の合計28牌を除いて競技する。一萬と九萬を残すのは「国士無双」の役造りのためである。28牌を除いてもツモつてくる回数が多いため、高い役ができ易い。「ハネ満」「倍満」等日常茶飯事である。我々の

ルールが、商社流の1万7千点持ちのインフレのため「親つパネ」を振り込むと、たちまちドボンとなってしまう。そのため一晩で半荘（ハンチヤン）12回以上の事が多い。

もう一つの変則ルールが門前（メンゼン）のみで上がれる事である。門前とはボン、チー等他者から鳴いていない状態である。「門前ドラ三」等の役が簡単にできるため、他者がリーチを掛けていないからと言って油断はできない。次のインフレルールは通常の流し満願を役満としている事である。これも結構でき易いので他者の捨牌にも要注意。

こうした変則の三麻を6年間ほど楽しんでいたが、この夏にメンバーの一人が健康を損ねてしまった。残念ながら「二人打ち」は困難なので、カレッジ仲間との健康麻雀に汗を流すこの頃である。

（宮前 小田 眞二）

1月の黒板

『なかま』の原稿を募集しています！

『なかま』の2ページと3ページは佐倉市民の皆さんから投稿いただいた記事を掲載しております。

『なかま』の原稿は、自由テーマを原則としています。「出会いと別れ」、「旅の思い出」、「祭り」、「私のふるさと」、「私の健康法」など何でも構いません。また、日常での出来事で発見したこと、気付いたこと、経験や感想などもご随意にお書きください。

原稿の字数は、650字（13字×50行）以内です。また、掲載するにあたり常用漢字への変更や、句読点等修正させていただくことがあります。

問い合わせ先

佐倉市立中央公民館 TEL: 043-485-1801 FAX: 043-485-1803

〒285-0025 佐倉市鐺木町 198-3

E-mail: chuo-public@city.sakura.lg.jp

URL: http://www.city.sakura.lg.jp/soshiki/16-1-0-0-0_1.html

『なかま』は佐倉市民カレッジの学生と卒業生で構成される編集委員が編集し、市民カレッジ情報コースの卒業生が文字入力を行っています。

さくら道

東邦大佐倉病院の前の道を西に行く道沿い近くに聖隷市民病院が在る。さらに進むと順天堂記念館に繋がる。このため佐倉の医学と縁を持つルートと思ったが、296号線と誤認していた。

せない。孔子様の「日に三省す」とはいかぬまでも、時に、来し方を反省し、正すことを考える。意志の弱い私は、少しでも実効性が伴うことを考え、神仏に助太刀を願う。

正月は、毎年訪れ、心も改まる時だ。そして、初詣は、神仏へ頼むチャンスを与えてくれはしないだろうか。ただ、都合の良い時だけの神頼みは神仏もつれなく、うまく行かぬことも多いが…。

(田島 誠)

あとがき

若き頃の良寛修行の地、岡山県玉島の円通寺を訪ねた。山陽新幹線新倉敷で下車し、高台にある水月庵跡へと向かった。良寛が敬慕した兄弟子仙桂和尚の墓所である。その後で円通寺を目指した。仲買町の歴史的な街並みを抜け、参道の標石から山道を登り詰めて、中腹にある円通寺に着いた。風格のあるたたずまいが、山陽道随一の風光明媚の

名利といわれるにふさわしい。はるかに島々を臨む、この瀬戸内の明るく温暖な地で、大忍国仙和尚に学んだ20年は、雪国育ちの良寛の人生観を決定したと言われている。

早春の温かさを感じながら暫し行き交う船を眺め、良寛に思いを巡らした。私は軽い足取りで円通寺を後にした。

すてきなテーマを温めてくれる皆様、今年もご投稿を楽しみにお待ちしております。

(岡本 治之)